

指定管理者制度導入施設 モニタリングシート

評価年度

令和2年度

1 基本情報

公の施設名	相模原ギオンスタジアム(相模原麻溝公園競技場) 相模原ギオンフィールド(相模原麻溝公園第2競技場) 相模原麻溝公園スポーツ広場 相模原ギオンスポーツスクエア(相模原麻溝公園グラウンド)
指定管理者名	相模原市体育協会グループ 【構成団体】 (公財)相模原市スポーツ協会、日本体育施設(株)、(株)NTTファシリティーズ、(株)ギオン
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日
施設設置条例	相模原市都市公園条例
施設の設置目的	豊かなスポーツライフの実現とスポーツを生かした地域のにぎわいの創出 (令和2年3月:相模原市スポーツ推進計画)
施設概要	<p>【競技場】 所在地:南区下溝4169 開設年月日:平成19年4月1日 公認:(公財)日本陸上競技連盟第2種 トラック:全天候型400m、9レーン 芝生フィールド:106m×71m 観覧席:メインスタンド2, 823席、バックスタンド3, 492席、芝生スタンド8, 985人 その他施設:写真判定室、放送室、記録室、会議室、電光掲示盤、夜間照明、雨天走路ほか</p> <p>【第2競技場】 所在地:南区下溝4169 開設年月日:平成26年4月1日 公認:(公財)日本陸上競技連盟第4種 トラック:全天候型400m、6レーン 人工芝フィールド:107m×75m(一部変則・投てき競技対応人工芝)</p> <p>【スポーツ広場】 所在地:南区麻溝台3254 開設年月日:平成14年4月</p> <p>【グラウンド】 所在地:南区下溝4169 開設年月日:平成29年6月</p>
施設所管課	市民局 スポーツ推進課

2 管理実績

項目(単位)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
【競技場】 利用者数合計(人)	220,693	195,985	181,849	237,371	253,615	77,978	
【競技場】 利用料金合計(円)	8,345,457	8,862,028	12,229,922	16,732,840	20,400,894	16,077,861	
【第2競技場】 利用者数合計(人)	50,469	48,511	39,470	42,140	35,463	22,469	
【第2競技場】 利用料金合計(円)	3,792,044	4,747,528	5,276,657	5,543,988	5,403,831	3,247,293	
【スポーツ広場】 利用件数合計(件)	966	891	843	703	657	375	
【グラウンド】 利用件数合計(件)	-	-	159	156	172	129	
【グラウンド】 使用料合計(円)	-	-	363,200	307,200	308,800	206,400	

3 成果指標の達成度

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
C	<p>【評価理由】新型コロナウイルス感染症拡大に伴う施設休止により利用者数は大幅に減少した。また、供用期間中においても、施設の利用制限や感染の心配による利用や試合観戦を控える動きもあったと思われるが、施設としては感染拡大防止のために徹底した対策を行っていただき、利用者の安全安心な利用に寄与した点を評価する。</p> <p>【委員会意見】入場者数の大幅な減少については、ホームタウンチームの試合が無観客となったり、観客制限をしていたことが要因であると思われるためやむを得ない。屋外施設の開放は若者の運動不足解消に貢献できたと思われる。</p>

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大に伴う施設休止の影響を考慮し、施設の開所日数や観客数の制限を踏まえ、目標値を修正した（令和2年度における目標値の（ ）内の数値は修正前の目標値）

指標 1							
指標名 (単位)	競技場の一般利用者数(人)						
指標式と指標の説明	年間の一般利用者数(競技場の陸上個人利用)						
項目 (単位)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値 (人)	31,500	32,000	37,200	38,000	38,000	24,161 (39,000)	30,000
実績値 (人)	37,180	39,020	33,856	24,801	34,623	22,385	-
達成度 (%)	118.0%	121.9%	91.0%	65.3%	91.1%	92.6%	-

指標 2							
指標名 (単位)	競技場の来場者数(人)						
指標式と指標の説明	年間の来場者数(一般利用者数を除く)						
項目 (単位)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値 (人)	165,000	170,000	186,000	186,000	186,000	71,293 (190,000)	152,000
実績値 (人)	183,513	156,965	147,993	212,570	218,992	55,593	-
達成度 (%)	111.2%	92.3%	79.6%	114.3%	117.7%	78.0%	-

指標 3							
指標名 (単位)	第2競技場の一般利用者数(人)						
指標式と指標の説明	年間の一般利用者数(第2競技場の陸上個人利用)						
項目 (単位)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値 (人)	4,500	4,500	6,000	6,000	6,000	3,486 (6,000)	4,800
実績値 (人)	5,095	4,184	6,598	7,344	5,221	4,213	-
達成度 (%)	113.2%	93.0%	110.0%	122.4%	87.0%	120.9%	-

指標 4							
指標名 (単位)	第2競技場の専用利用件数(件)						
指標式と指標の説明	年間の専用利用件数(第2競技場)						
項目 (単位)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値 (件)	800	800	910	950	750	538 (750)	450
実績値 (件)	903	958	508	439	469	311	-
達成度 (%)	112.9%	119.8%	55.8%	46.2%	62.5%	57.8%	-

指標 5							
指標名 (単位)	スポーツ広場の利用件数(件)						
指標式と指標の説明	年間の利用件数(スポーツ広場)						
項目 (単位)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値 (件)	1,000	1,000	1,000	1,000	900	583 (900)	310
実績値 (件)	966	891	843	703	657	375	-
達成度 (%)	96.6%	89.1%	84.3%	70.3%	73.0%	64.3%	-

指標 6							
指標名 (単位)	グラウンドの利用件数(件)						
指標式と指標の説明	年間の利用件数(グラウンド)						
項目 (単位)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値 (件)	-	-	280	200	200	158 (200)	180
実績値 (件)	-	-	159	156	172	129	-
達成度 (%)	-	-	56.8%	78.0%	86.0%	81.6%	-

4 事業の実施状況

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
A	<p>【評価理由】コロナ禍における自主事業の開催となったが、感染拡大防止対策の徹底や参加者へのきめ細やかな事前連絡等により、比較的安定した参加率を維持した点を評価する。また、健康づくりを目的としたものから競技力向上を目的としたものまで幅広く対象者を捉えた事業を展開しており、継続していただきたい。</p> <p>【委員会意見】コロナ禍で工夫した事業の実施が来ている。特にスラックラインなどの新しいスポーツを取り入れた若者向けの事業展開も評価できる。</p>

市が指定する事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価

企画提案事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価

自主事業

主な事業名	実施時期	内容・回数・参加者等	評価
楽しく健康、筋力アップ&リラクセーション	8月～3月 (8月、1月～3月のコロナ休止期間を除く)	50歳以上を対象とした体操教室で、習慣的に自宅でもできるような運動や心身ともにリラックスできるようなストレッチなどを行っている。希望者が多いため、2部制で全34回実施し、延べ926人が参加。	◎
ナイトヨガ	10月19日	夜間照明を利用し、開放感のある屋外の芝生の上で、心身のリラックス・リフレッシュを目的としたヨガを行う。27人の参加。	◎
ファンクショナルトレーニング	9月～3月 (1月～3月のコロナ休止期間を除く)	自重を用い、全身の柔軟性、バランス力などを同時に高め、自宅でも復習できるトレーニングを行う。全15回、延べ190人が参加。	○
フラワーアレンジメント	12月 (5月、2月はコロナにより中止)	会議室を有効活用した文科系の教室で、相模原市内でフラワーアレンジメント教室を行っている講師による季節に合った生花のアレンジメント教室。全2回、49人が参加。	◎
初日の出をみよう	1月1日	競技場の観客席を開放し初日の出を祝う元旦イベント。405人が参加。	◎
イルミネーションによる効果を狙って～勇気と希望の光を見上げよう～	12月～1月	施設内の大木にイルミネーション装飾を施し、コロナ禍において、コロナに負けない勇気と希望を抱いてもらえることを目的として実施。	◎

5 利用者の満足度

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
S	<p>【評価理由】新型コロナウイルス感染症拡大の影響で予定通りの回答数が得られなかった中ではあるが、結果としては目標値を大きく上回った。昨年度は職員対応の項目で不満の声が一部目立ったが、新型コロナウイルス感染症による利用制限や利用料金の値上げ等、利用者の不満につながる背景があったにもかかわらず、その数が減少したことから、日頃から丁寧な対応を心掛けていただいていることがうかがえる。</p> <p>【委員会意見】アンケートの回答結果を見ても職員対応に日頃から力を入れたことが分かり、評価は妥当である。</p>

利用者満足度調査	
調査方法/サンプル数	利用状況に鑑み、各種大会が開催される夏から秋にかけての第1期と、マラソン・ラグビーなどの大会が開催される冬場を第2期とし、利用者・観戦者などからアンケート形式により意見収集を行う。サンプル数:352件
目標値の基準	指定管理第2期の最終年度である平成28年度利用者アンケート集計を基にし、すべての施設において、「満足」「やや満足」の回答をいただいた割合の平均値を求め、目標値の基準とした。なお、令和2年モニタリング時にいただいたアドバイスを参考に令和2年度より設定値を変更した。

項目 (単位)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
目標値 (%)	-	-	90	90	90	85	85
実績値 (%)	-	-	94	92	94	98	-
達成度 (%)	-	-	104.4%	102.2%	104.4%	115.3%	-

その他の取組		
取組事項	時期	取組内容
提案箱	通年	来場者が感じたことや施設に対する御意見などを自由に提案できることを目的に、事務所からの視界に入らない場所に受付箱を設置し、来場者が気軽に提案できるよう工夫している。

6 施設の経営状況

評価 (5評価)	評価理由・委員会意見
S	<p>【評価理由】利用料金収入、自主事業収入ともに大幅な減少となったが、市からの補助金等により黒字となった。その黒字分についても、利用者の利便性向上や安全な利用のための還元事業を進んで実施いただいた点について評価する。</p> <p>【委員会意見】構成団体の財務状況については、特段の問題はなしと評価する。利益還元を進んで行っていただいております。</p>

施設の収支概要

※直近3年間について記載

(千円)

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度
収入 (a)	139,048	142,667	160,541
指定管理料	116,463	116,553	115,528
利用料金・使用料収入	22,584	26,114	19,532
その他の収入	1	0	25,481
支出 (b)	140,426	147,263	152,590
人件費	53,210	55,902	58,176
本社管理経費	0	0	0
施設管理経費	87,216	91,361	94,414
本体事業収支 【(a)-(b)】 (c)	-1,378	-4,596	7,951
自主事業収入 (d)	25,153	25,473	10,729
自主事業支出 (e)	18,946	19,396	12,798
自主事業収支 【(d)-(e)】 (f)	6,207	6,077	-2,069
全体収支 【(c)+(f)】	4,829	1,481	5,882
備考	<p>新型コロナウイルスの影響に伴う閉鎖及び人数制限により大幅な収入減となったが、前年度までの実績に伴う減収に対する協力金やコロナ対策用品に対する補助金により全体収支は昨年に比べ増となった。</p> <p>収益については、利用者に出来る限り還元できるようスポーツ広場の日陰対策用シェルターなどの備品の購入やさび止めのペンキを塗るなどの簡易修繕を行い施設の保全と景観の保持、利用者の安全の確保に努めた。</p>		

団体の財務状況

団体本体の経営状況について特段の問題はない。

7 管理業務の履行状況

検査方法	市チェックリストに基づき、指定管理者へのヒアリング、現地確認により検査を実施
実施時期	令和2年9月

検査項目	確認結果	備考
管理業務	適正に実施	
危機管理	適正に実施	
人員配置・地元活用	適正に実施	
現金管理	適正に実施	
会計・経理	適正に実施	
情報セキュリティ	適正に実施	
情報公開・個人情報保護	適正に実施	
市への報告事項・事前承認等	適正に実施	
加点事由	具体的内容	
有	競技場天然芝の管理について、一般市民の利用も多々ある中、4つのホームタウンチームの試合会場として高いクオリティを維持し続け、「する」「観る」「支える」スポーツの振興に寄与したことから加点するもの。	

8 指定管理者の自己評価

令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う施設閉鎖、時短営業、人数制限という事態に遭遇し施設運営に直接影響を及ぼすこととなった。その中でも、来場される方々に対しすべての職員がホスピタリティを大切に、利用者が再度来場したいと思うような施設づくりに努力した。また、競技者だけではなく一般の方々にも競技場へ足を運んでいただけるよう自主事業においては職員が市民ニーズなどを的確に捉え、様々な教室を開催し活気あふれる競技場づくりに努力してきた。

公園施設としては、新型コロナウイルス感染拡大防止に伴う様々な制限による心的ストレスを和らげるためにもジョギングやウォーキング、散歩、休憩が出来るようオープンスペースの安全安心な施設開放について努めた。

これらの取り組みと努力の成果として、満足度調査結果において多くの利用者から「満足」との回答を得られることができたことは、施設管理者としての評価に値するものと考えている。

9 所管課意見

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う施設休止期間が多くあった1年となり、成果指標の達成度においては低い評価となってしまったが、施設休止期間においても公園機能としての役割を持つ本施設において、常に利用者の安全・安心な利用に資するための施設整備等を行っていただいた。また、供用期間中においても、コロナ禍というこれまで経験のない事態に直面しながらも、感染拡大防止のための対策を絶えず徹底していただき、大きな事件、事故を発生させることなく管理運営いただいたことを評価するとともに、引き続き利用者の快適なスポーツ活動の場の提供をお願いしたい。

10 選考委員会意見

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う施設休止の影響を受け、観客者数等が大幅に減少したことにより評価が下がってしまうのはやむを得ないが、屋外施設という点で市民、特に若者の運動不足解消に貢献したと思われる。

利用者対応に力を入れ、それが結果として表れたことは評価に値する。

今後、新型コロナウイルス感染症が終息に向かうにつれ、利用者数が増加することが予想されるが、引き続き感染対策を徹底いただき、管理業務を行っていただきたい。

総合評価（自動判定）

A

(80/100)

